

新型コロナウイルス感染症流行下での「認知症サポーター養成講座」について

各地域の新型コロナウイルス感染者の発生状況等を考慮した上で、従来通りの対面式での講座開催が困難であり、かつ、開催ニーズが高い「認知症サポーター養成講座」については、“オンライン”での開催を可能とします。

“オンライン”による「認知症サポーター養成講座」開催の要件

認知症サポーター養成講座の趣旨を踏まえた上で、講座内容の質の担保を図るため、下記のすべてを満たしていることを必須とします。

- ① キャラバン・メイトと受講者が随時対話ができ、かつ、キャラバン・メイトが画面を通して受講者の状況を把握することができるシステムを使用する。
※キャラバン・メイトが講座を録画した動画の視聴等を認知症サポーター養成講座とすること等は不可。
- ② 必ず、講座の開催 1 カ月前までに、「認知症サポーター養成講座開催計画表」を自治体等事務局が専用ホームページから入力・送信する。
※併せて、少なくとも開催 2 週間前までには、受講予定者数分の標準教材等の手配をしてください。
- ③ 講座の内容は、「認知症サポーター等養成事業の実施について」(厚労省通知)で示されているカリキュラムに準拠する。
- ④ 受講者には、事前に『認知症サポーター養成講座標準教材』(または『認知症サポーター養成講座小学生副読本』『認知症サポーター養成講座中学生副読本』等を配布し、教材に沿ってキャラバン・メイトが講義を行う。
その際、「認知症の基礎知識、早期診断・治療の重要性、権利擁護等」については 60 分の講義を行い、「認知症の人への対応、家族の支援、サポーターとしてできること等」については、30 分の講義や演習を行う。
※ 小・中学校の授業の一環で行う場合は、授業の一コマ(45 または 50 分)での実施が可能。
※ キャンペーン DVD「認知症サポーターキャラバン」を必ず視聴する。
※ オンライン講座のシステムに受講者全員がログインするのに要する時間を、講座の時間とは別に設けるように留意する。
- ⑤ キャラバン・メイトは、受講者が④の 90 分の講座の開始から終了まで参加していることを確認する。
※適宜、質疑応答や受講者からのコメントの機会を設けることが望ましい。
- ⑥ 講座終了後 2 週間以内に、「認知症サポーター養成講座実施報告書」を専用ホームページに入力・送信する。
※受講者数(初回受講者のみ)を正確に入力してください。男女別・年代別の内訳は、講座の実施状況を把握するために必要な情報ですので、必ず入力します(内訳が不明な場合、配分は厳密でなくてもかまいません)。

◆オンラインによる認知症サポーター養成講座用の動画教材ができました◆

令和3年度より、下記の教材をオンライン動画教材配信システムで活用していただくことができますようになりました。

オンラインで実施する認知症サポーター養成講座は、対面式で行うよりも受講者の反応を把握するのがむずかしく、また、機材の操作や通信状況の確認等、講義以外にも配慮を要する作業が生じます。

そのため、講師を務めるキャラバン・メイトの負担を軽減し、かつ、基本カリキュラムに則り、全国共通の内容で認知症の基礎知識、事業の概要等を正しく伝達するのに役立つツールとして、当動画教材を作成しています。

<p>①認知症サポーターキャラバン キャンペーンビデオ【約15分】 2021年1月改訂版のDVD「認知症サポーターキャラバン」と同内容。</p>
<p>②『認知症サポーター養成講座標準教材・認知症を学び地域で支えよう』準拠の動画教材【約50分】</p> <p>標準教材の「第1章 認知症を理解する」の内容を網羅し、図解のスライドを用いた講義動画。キャラバン・メイトによるオンラインでの認知症サポーター養成講座において、認知症の基礎知識（基本カリキュラム「認知症を理解する(1)(2)」に対応）の講義パートを動画視聴をもって行うことができる。</p> <p>※認知症サポーター養成講座での活用のほか、ステップアップ講座において認知症の基礎知識の復習用に活用することもできる。</p>
<p>③『認知症ってなあに？』（アニメーション動画）【約15分】</p> <p>『認知症サポーター養成講座小学生副読本』に準拠した内容。小学生の義人と翔子の兄妹が30年後の未来からやってきた謎の中学生、来人とともに認知症の基礎知識、対応のポイントや認知症サポーターについて学んでいく。</p> <p>※小学生を対象とする認知症サポーター養成講座において、カリキュラムの一部として活用することができる。</p> <p>※中学生以上を対象とする認知症サポーター養成講座で認知症の基本的理解の補足として使用する、ステップアップ講座において認知症学習の復習用に用いることも考えられる。</p> <p>※『認知症ってなあに？』（アニメーション動画）については、DVD版を有料でお分けすることができます。 (価格：1,650円・税込み)</p>
<p>④企業・職域向け認知症サポーター養成講座 事例編【各事例約7～9分】</p> <ul style="list-style-type: none">・金融機関編（ATM操作が困難に、窓口・店頭での対応、口座残高についての苦情）・スーパーマーケット編（売り場での対応、レジでの支払い、店舗内で行方不明に、同じ商品を何度も購入）・交通機関編（鉄道の自動改札で、バスの終点停留所で、夜間のタクシー乗務中に）・マンション管理編（共用廊下にて、水漏れの原因は…）・訪問業務編（集金業務で、約束の日時に訪問したら…）・ビジネスマン編（ランチタイムの相席で） <p>※各事例とも、1. 認知症の人への接し方（解説）→2. 悪い対応事例（事例）→3. 望ましい対応事例（事例）→4. 接し方のアドバイス（解説）で構成。</p> <p>※【活用例】事例映像を題材に「悪い対応」「望ましい対応」のポイントについてキャラバン・メイトが補足講義を行う、または自分たちであればどのような対応をするかを検討・グループ討議をするなどにより発表。</p> <p>※「ビジネスマン編」を除く5種類は事例DVD（自治体等事務局へ平成30年4月に送付）と同内容。</p>

★このほか、認知症サポーター養成講座でオンラインミーティングツール（Go To Meeting……キャラバン・メイトと受講者が双方向のやりとりをすることができる）の利用を希望される場合は、利用アカウントをご提供することができます。

【費用】

動画教材及びオンラインミーティングツールの使用料は無料です。

【基本的な活用例】 (合計 90分)

キャラバン・メイトによるオリエンテーション (5分)

① 認知症サポーターキャラバン キャンペーンビデオ (15分)

② 標準教材準拠の動画教材 (50分)

キャラバン・メイトによる講義 (20分以上)

- ・「第2章 認知症サポーターとしてできること」について、具体例等を用いた講義。
- ・認知症の人への接し方
- ・「第1章 認知症を理解する」についての補足や質疑応答。

【基本的な活用例 小学生を対象とする場合】 (合計 45分)

キャラバン・メイトによるオリエンテーション (5分)

③ 『認知症ってなあに？』 (アニメーション動画) (15分)

キャラバン・メイトによる講義 (25分以上)

- ・認知症の人への接し方 (実技を用いるなど)
- ・「認知症サポーターとしてできること」の具体例を考えてみる。
- ・『認知症ってなあに？』 (アニメーション動画) で学習したことについての補足や質疑応答。

★動画教材の視聴のみをもって、認知症サポーター養成講座を開催することはできません。必ず、キャラバン・メイトの講義による講座の一部として活用してください。

【活用にあたっての留意事項】

- 当動画教材を活用する場合は、必ず、事前に『認知症サポーター養成講座標準教材』(または『認知症サポーター養成講座小学生副読本』『認知症サポーター養成講座中学生副読本』のいずれかを受講対象者に応じて選定) のテキストを受講者に配布してください。
 - 動画配信サイトへの接続や受講確認等に要する時間は、講義時間とは別に余裕をもって設定し、講座の計画を立ててください。
 - 受講者全員が動画教材の視聴、カメラ及びマイクをオンにして双方向でやりとりをするには原則として有線LANをはじめ通信速度が速く安定した通信環境をあらかじめ整えておく必要があります。
 - オンラインで行う講座で必要となるPC、タブレット端末や通信にかかる設備や通信費等の準備や負担のあり方については、自治体、企業・職域団体事務局内において、あらかじめルールを定め、キャラバン・メイト個人等の負担が過重にならないような配慮をしてください。
- ※当動画教材は、認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターのステップアップ講座でのみ、視聴することができます。